

熊本記念(GIII) 主力の横顔



中川 誠一郎

三十路を越えて期すもの勝ち上がり、2次予選準決があつたのが、ナショナルチーム入り、夢であったオリリンピックに挑戦したのり、生れも育ちも肥後の中川誠一郎。努力は報われるで、結果は「参加する事に意義あり」のオリリンピック精神で終えたが、無駄では無かつた事を証明したのが、静岡ダービー、開催の2週間前に熊本地方を襲った震度7の地震。仕事場の熊本競輪場は見るも無残な姿に。このまま廃止に追い込まれてはいけなと、臨んだ1次予選は先行2着で

月を返上して練習した成果が和歌山記念、寒風吹き荒れるバンクを物ともせず、連日異次元スピードを披露、決勝は会心の捲り、幸先良い優勝でスタートを切ったのに、好事魔多しとはこの事で、全日本選抜(取手)を間近に控えた奈良記念に参加、これが大失敗で中団を取りに行き、早坂秀悟を叩き込みに行った時に不覚にも前走の後輪に内から差し込み自ら落車。この代償は高く付き、鎖骨骨折に肋骨も折れた事で全日本選抜は欠場の憂目に泣いたが、それより痛かったのは6月が幹線停止に成り、高松宮記念杯を走れなかつた事だ。悪い事はサラリと忘れる性格なので立ち直りは早く、寛仁親王杯・共同杯を走り、昨年以上に仕上がると信じての本命。



深谷 知広

昨年4月に襲った熊本地震での惨状を知り、立ち上ったのは輪界のトップレーサー「深谷知広」。誰よりも早く顧問を申し込み、実現したのが競輪祭を終えて11月末、マイカーにファンサービス品の山積みにし、寒い中熊本競輪場内を、楽しまれてファンを勇気づける行動には関係者一同感謝。これで選手会も一丸に成り、再開へ向けて大きく一歩を踏み出したのも功績では。走るレースは全て人気を背負い、先行捲りを貫き通しては何時も、事だけ、今年から憧れて

れも気にせず、ほぼ中ゼロで久留米記念に参加。其の後もタイトなスケジュールをこなした、サマーナイトの後は福岡記念で頑張り、川崎ナイター記念ではニューフレームが正解したのか、決勝は脇本雄太の鐘前カマシを何と10秒6のタイムで捉え、今年2度目の記念V。中2日の平オールスターは疲れも見せず順調に決勝進出し、中部4人の一番前を申し込む男気、結果は青板バックから仕掛けたのに、後の竹内雄作が後輪にハウスして落車した事で実らなかつたが、この選手が凄いの中2日でも走った豊橋記念で4日間走り逃げた超スピード。決勝は師匠金子貴志に今年記念初Vをプレゼントしただけでなく、3番手の吉田敏洋を競輪祭に連れて行く価値ある準V。熊本記念だけ、久留米バンク記念だけ、久留米バンクでは、僚友浅井康太と弟分の近藤龍徳を連れてファンを魅了する。



浅井 康太

熊本記念でも、そして久留米バンクでもお馴染み九州大好き「浅井康太」。G1の優勝こそ7年前の弥彦寛仁親王杯と岐阜オールスターしか無いが、2年前は単騎で京王閣グランプリを制して超スター。常には僕が自力主体で準備はして、それだけの通りに安定度はスバ抜けて居り、それが6年連続のグランプリ出場。こ

の大一番、小倉競輪祭Vを手土産にグランプリに突入する予定。この選手の最大の長所は生活の全てを訓練にしている事で、ただ歩くだけではなく、テーマを持って体のバランスを考えているとの事で、特に物を持って納得する迄やっています。



武田 豊樹

三十路に成ってスピードスケートの世界から競輪に転向した革命児は、輪界をここ迄牽引して来た道産子「武田豊樹」。熊本記念は連続して出場してくれてるので、野望は寛仁親王杯、これまで優勝3回と抜群の成績を残して、今年もファンの要請に本人の希望もあつたの参加。昨年熊本記念とは言っても久留米競輪場での代替開催でもあり、今イチ乗れなかつたのか、2次予選で取

きもあつて、9月現在迄、優勝ゼロは選手に成って初めてだけど、特別・記念の安定した成績で6千万を稼ぎ、賞金でのグランプリ出場に王手を掛けているのは実力の何ものでも無し。不安視された平オールスターの落車は骨折する迄には至らず、大事を取って向日町記念を休み、武雄共同杯に備え、その貯金で前橋寛仁親王杯で健在振りアピールしての熊本記念に参加。昨年の事があるので今回は特別な想いで、GIの後でも気持ちを切りさす自力でも獲れる脚に仕上げたのは想像に難くないが、心強いのは前年を弟子の吉澤純平・牛山貴広が固めてくれる事。



山田 英明

デビューからずつと先輩、荒井崇博の2番手に甘んじていた「山田英明」。何時の日か追い抜いて佐賀No.1の座を奪回すると誓い、愛妻との2人3脚で頑張った。特別競輪での大活躍、11月の地元武雄記念の初日特選で荒井崇博から受けた愛の鞭で、志に火が付き、それが練習量に成り、何時の間にか驚く程のパワーを身に付けたのが5月京王異次元パワーに届して

の惜しい3位入賞。「次は獲るしかないですね」とニコリ笑つたのは、すでにその域に達した事を確信したからの事。3連続を狙った平オールスターは、力での2次予選を突破。大事な準決勝は気魄のイン上昇で、勝負処の1角で深谷知広の後位を取りに行つたら平バンク独特の落車・失格の大試練。幸いな怪我は骨折する迄に至らなかつた事で、治療に専念してから地元武雄記念を迎える前にはG1前橋寛仁親王杯もあ



古性 優作

東京五輪の正式種目に決定したBMXの日に本チャンピオンから「古性優作」。抜群の反したの浪花のガッツマン「古性優作」。抜群の反射神経に運動能力を必とすアクロバティクな競技を幼少の頃からやつただけに、どんなに危険なプレーをしなくても大怪我しないのは、これ全て卓越したバランス感覚。昨年は青森記念に前橋寛仁親王杯の並み入る強豪を降し、優出で実績を積み、暮

代表するスタープレイヤの座を不動の物にしたのは不断の努力。強く成るためにはどんな事でも試してみようという探究心は、鍛え抜いた体力の裏付けがあるからの事。その名を全国のファンの前に刻んだのは4月川崎ナイター記念の2日目優秀戦。最終ホームで内をスルスルと上昇して平原康多と壮烈な競り合いを演じ、遅れていた平原の前輪を払い、落車させたのが1度目の失格。それより凄かったのは、2角から会心の捲りを敢行した郡司浩平を金網近く迄持って行った行為で何と2度目の失格。これで事故点が150点を越え、8・9月の幹線が止まったが、この間に練習したのは明白。